

原田 大介(はらだ だいすけ)
関西学院大学教育学部 教授 博士(教育学)
専門は、国語科教育、授業研究、インクルーシブ教育



1977年愛知県生まれ。2007年に広島大学大学院教育学研究科博士課程後期を修了。小学校教員、福岡女学院大学講師、関西学院大学准教授を経て、2020年4月から現職。単著に『インクルーシブな国語科教育入門』(明治図書、2022年)、『インクルーシブな国語科授業づくり』(明治図書、2017年)。共著に『インクルーシブ授業の国際比較研究』(福村出版、2018年)、『よくわかるインクルーシブ教育』(ミネルヴァ書房、2019年)等。

コメント

兵庫県西宮市にある関西学院大学という高等教育機関で教員をしています。私の主な研究テーマは、「子どもたちが多様性を包摂する(インクルーシブする)ことばの力を獲得する上で、教科「国語」はその学びの場になり得るのか?」というものです。この研究テーマは、かれこれ20年近く追いかけています。…が、2017年版小学校学習指導要領国語編の内容においても、小学校の国語の教科書の内容においても、「現状では厳しい」「十分な状態ではない」というのが私の回答となります。

しかし、教科「国語」を「インクルーシブなものへと変えていくこと」自体は、考え方や進め方によっては、そして、多様性をめぐる問題に意欲や関心のある教員がいれば、ある程度は可能だと考えています。では一体、どうすればよいのか…? 当日は、それをお話できればと思っています。

画面越しではありますが、皆さんとお会いできること、議論できることを楽しみにしています。